
B'AI Global Forum

2020 年度 活動報告書

2021.05.31.

ご挨拶

B'AI グローバルフォーラムは 2020 年 7 月 30 日に発足しました。

B'AI は平等社会とマイノリティの権利保障という社会目標を、AI が社会のあらゆる局面に浸透する時代に、いかにによりよく実現していくかを研究の主眼としています。この報告書は 2021 年 3 月までの、初年度の研究・教育活動をまとめたものです。

B'AI には東京大学の教員、研究員、大学院生に加え、国内外の他の組織に所属する人びとも参加しています。多様なメンバーが集まり、積極的に意見交換することで、新しい理解と価値を築いていきます。

2020 年度は新型コロナウイルスの影響で、対面での活動はできませんでした。当然、日本国外に住む研究者を招聘したり、こちらから訪れて調査をしたりすることも叶いませんでした。予定していた活動が制限されたのは残念ですが、国境を閉ざし、他者との距離を取ることが強調される社会において、日常のあらゆる面に設けられている「境界」をより鋭敏に意識することができるようにもなりました。この社会状況だからこそ得られた知見もありました。

今後、「通常」の研究活動と交流が可能になったとしても、2020 年度の半年間で B'AI が展開した AI と社会をめぐる諸々の議論は、長く続く私たちの活動の礎として残るものであると確信しております。

2021 年 5 月

B'AI Global Forum ディレクター 林香里

プロジェクトの概要

B'AI Global Forum (ビー・エイアイ グローバル・フォーラム) とは

- AI 時代における真のジェンダー平等社会の実現とマイノリティの権利保障のための規範・倫理・実践研究を行うグループ。
- 東京大学とソフトバンクが共同で立ち上げた「Beyond AI 研究推進機構」の中の「AI と社会」部門に位置。
- 名称の「B'」には、AI 以前の言論・表現空間の歴史 (before)、AI 発展の背後の利害 (behind)、下部構造 (beneath) など、AI 等の技術を取り巻く歴史やそれを支える社会構造を多角的に考察していこうという意味が込められている。

運営チーム

- Director：林香里 東京大学大学院情報学環教授
- Associate Director：板津木綿子 東京大学大学院総合文化研究科准教授
- Executive Manager：矢口祐人 東京大学大学院情報学環教授

研究期間

- 予定期間：2020年7月30日～2030年3月31日
(本報告期間：2020年7月30日～2021年3月31日)

研究課題

- B'AI Global Forum は、ジェンダー平等社会とマイノリティの権利保障という社会目標を、AI が社会のあらゆる局面に浸透する時代に、いかによりよく実現していくかを主眼としている。現代、経済格差やジェンダーや人種／民族などに基づく差別が止む気配はなく、課題は山積している。とりわけ、2020 年新型コロナウイルスの感染拡大以降、政治、経済、文化など社会の活動において、デジタル技術を利用したコミュニケーションの比重が格段に増す中、経済格差やジェンダー、人種／民族などに基づく差別は、一層助長されていく例が世界各地で報告されている。このプロジェクトは、こうした社会問題の克服を目指し、市場原理ならびに一方的な科学技術の発達を最優先させてきた近代の諸制度や価値観を根本から問い直し、現状の社会の諸制度や組織構造の成り立ちを解明していく。さらに、AI などの先端技術が、あらゆる人の生に貢献する技術となるよう、多様な分野からの研究者、実務家、ジャーナリスト、市民たちとともに、現状の課題を見出し、その解決を模索、提案していく。

2つの目標

- AI をはじめとするデジタル情報技術と社会の関係を反省的かつ批判的に解明すること
- 言論・表現空間の公正性を実現すること

4つのテーマ

- AI をはじめ、デジタル情報技術による女性やマイノリティへの差別・暴力の解明
- AI をはじめ、デジタル情報技術による多様かつインクルーシブなメディア表現空間の設計
- 若手研究者、起業家、実務家、その他一般市民とともに AI 等の技術をめぐる課題を討議する文理融合グローバル・フォーラムの創設
- デジタル情報化時代の倫理の再考、およびそれに基づくインクルーシブ教育の実践

B'AI Global Forum の出発

B'AI Global Forum 発足イベント

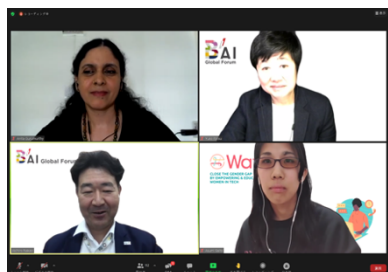
- 2021年3月17日、オンラインにて発足イベント「AI時代におけるジェンダー正義：参加と活動をめぐる対話」を開催した。第1部では、インド・ベンガルールを拠点とする NGO・IT for Change エグゼクティブ・ディレクターのアニタ・グルマーシー氏が登壇し、「情報知識産業におけるフェミニスト的未来を目指して」というタイトルで基調講演を行った。第2部では、パネリストに一般社団法人 Waffle 共同創業者の斎藤明日美氏と東京大学大学院情報学環の中尾彰宏教授、モデレーターに B'AI Global Forum の板津木綿子アソシエイト・ディレクターが加わり、視聴者からの質問やコメントを交えながらディスカッションが行われた。

B'AI Global Forum の活動拠点オープン

- 2021年2月、東京大学浅野キャンパス工学部12号館に、B'AI Global Forum の活動拠点となる B'AI Room (バイルーム) がオープンした。B'AI メンバーのコミュニケーションの場として、またワークショップや勉強会などイベントの会場としても活用されることになる。

B'AI Global Forum のウェブサイト立ち上げ

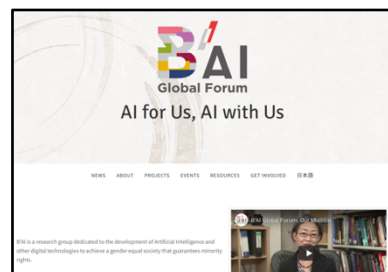
- 2021年2月、B'AI Global Forum の公式ウェブサイトがオープンした (<https://baiforum.jp>)。ここでは、B'AI の活動目標とビジョン、メンバーの紹介、各種プロジェクトやイベントの案内はもちろん、AI 倫理に関する機関一覧や世界各国の主要報告書なども閲覧することができる。B'AI Global Forum の今後の活動成果もここにアーカイブされる予定である。
- 3月には公式ウェブサイトの英語版も公開 <https://baiforum.jp/en/>
- その他、公式 SNS：フェイスブック <https://www.facebook.com/baiforum/>
ツイッター <https://twitter.com/baiforum?s=11>



B'AI Global Forum 発足イベント

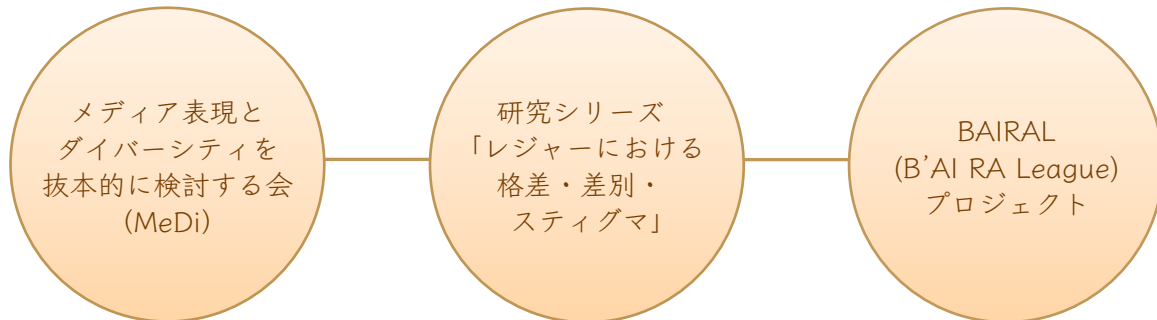


B'AI Room



B'AI 公式ウェブサイト

B'AI Global Forum のプロジェクト



メディア表現とダイバーシティを抜本的に検討する会 (MeDi)

- MeDi は、テレビ、新聞、インターネットなど、さまざまな媒体上の公正な表現のあり方を考える産学共同研究グループである。メディアの表現は、日常生活の規範をつくるほどの影響力があるだけに、不適切な表現は人権問題にもなり、職場や学校での差別やいじめ、ハラスメントにつながっているという指摘もある。MeDi では、こうしたメディアの諸問題を指摘するとともに、現代のデジタル情報社会の積極的な可能性と今後の課題について、世界の研究者や実務家と連携しながら模索する。（<https://www.medi-gender.com>）
- 2020年12月12日、初回のシンポジウム「ジェンダー・ギャップの解消に向けてーデジタル情報化社会におけるメディアの課題と未来」をオンラインにて開催した。第一部「女性が増えれば何が変わる？～大手メディアがジェンダー問題に取り組み始めた」、第二部「オンライン空間は女性にとって安全か？」という二部構成で、MeDiのメンバーとゲストのTBSテレビ人事労政局担当局長の藤田多恵氏、朝日新聞記者の岡林佐和氏、東京大学未来ビジョン研究センター特任講師の江間有沙氏、ライターのヒオカ氏、弁護士の山口元一氏が活発な議論を交わした。

研究シリーズ「レジャーにおける格差・差別・スティグマ」

- 今日、私たちのレジャー活動において、人工知能（AI）はすでに欠かせない技術になっており、私たちの社会との関わりや人間としての充足感の獲得に大きな影響を及ぼしている。しかし、余暇時間中のレジャー活動は、オンラインであれオフラインであれ、自由なレジャー活動を妨げる偏見やスティグマ、そして社会の差別の構造さえ映し出していることを忘れてはならない。このプロジェクトでは、私たちのレジャー活動のなかにいかに格差、偏見、スティグマが織り込まれていったかについて検証し、AIの技術活用がレジャーにおける格差、偏見、スティグマを知らず知らずのうちに再生産や強化しないよう、その批判眼を養っていく。

- 2020 年度には、レジャースタディーズ研究会・余暇ツーリズム学会との共催で、以下のように 2 回の研究会が開催された。
 - 第 1 回研究会「レジャーと『格差』はなぜ／どのように交差するのか？」（講師：東海大学観光学部准教授・小澤考人氏）
 - 第 2 回研究会 ①「戦前期日本における『趣味』の Hobby 化とジェンダー化——中等学校就学層を中心に」（講師：聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授・歌川光一氏）
②「SNS を使用したレジャー的運動の意義と課題」（講師：一橋大学大学院社会学研究科博士課程・青野桃子氏）

BAIRAL プロジェクト

- BAIRAL (B'AI RA League) は、B' AI Global Forum の若手リサーチアシスタント (RA) による自主研究会で、人工知能 (AI) と社会の関係について、理論・実践の両面から検討している。AI は私たちの日常生活において様々な応用可能性を示している反面で、これまでには見られなかった複雑な権力やリスクの問題も生み出している。新たな技術が拡がりを見せる現代において、政治・社会・文化の問題を批判的に理解し、マイノリティを含む人間の尊厳や自由を議論するためには、個々の研究分野を超え、より多様な観点を取り入れる機会が必要だ。そこで、BAIRAL では、議論のための開かれたネットワークを構築すべく、毎月様々な研究・実践領域で活躍されているゲストスピーカーをお招きして、研究会を開催している。
- 2020 年度には以下のように 4 回の研究会が開催された。
 - 第 1 回研究会「検索エンジン・ランキングのメディア論」（講師：東京大学大学院学際情報学府博士課程・宇田川敦史氏）
 - 第 2 回研究会「ニュースルームにおけるジェンダーバイアスの解明：世界 8 社との連携プロジェクト『AIJO』について」（講師：日本経済新聞社・鈴木陽介氏／日本経済新聞社インターン、カリフォルニア大学サンタクルーズ校博士課程・森一聖氏）
 - 第 3 回研究会「ネットワーク分析を用いた誘い出し・ネットいじめの検知」（講師：東京大学大学院工学系研究科特任研究員・西口真央氏）
 - 第 4 回研究会「ネットメディアと新聞社におけるニュース生産過程の『違い』とファクトチェック」（講師：BuzzFeed Japan 記者・簗智広太氏）

その他の活動状況

2020 年度の実績

- 2020年9月30日、理研 AIP 社会グループ（リーダー杉山将先生、本プロジェクト「Super AI、AI 自体の進化」部門）との共催イベントを開催。林香里（タイトル：「『わからない』という声」）、板津木綿子（タイトル：「AI 時代到来における余暇活動と余暇言説の変化について」）、矢口祐人（タイトル：「AI 翻訳・通訳と異文化間教育・国際交流」）が発表。
- 2020年11月、「建設的ジャーナリズム研究会」のフェイスブックページを立ち上げ、日本における建設的な言論・表現を創造する実務家・研究者たちのフォーラムを設置。
<https://www.facebook.com/tothefuturesociety/>
- 2020年11月23日、バスツアーで国立歴史民俗博物館（佐倉市）を訪れ、特別展「性差の歴史」を見学し、展示を企画した同館の横山百合子教授・長志珠絵教授（神戸大学）と意見交換を行った。翌週の11月30日には、オンライン・セッション「『性差の日本史』を振り返る～国立歴史民族博物館の展示空間と『公正』なジェンダー史表象」を開催。
- NHK 放送文化研究所、NHK 技術研究所とともに、AI を使ったオンスクリーン調査による報道の多様性研究プロジェクトを立ちあげ、8月27日、11月17日、2月5日に研究会を開催。2021年3月4日、NHK 文研フォーラム 2021「メディアのダイバーシティ推進をどうする？ジェンダーバランスの視点から」に林香里が登壇し、中間報告を発表。
- 朝日新聞、日経新聞とともに London School of Economics (LSE) の Journalism AI プロジェクトに参加。AI を用いて、新聞記事のテキスト（日本語・英語）の固有名詞から男女の判定をし、情報のジェンダーバイアスを見る探索的調査を開始。
- 上智大学・三浦まり教授との勉強会 SAYFT（Safe Campus Youth Network Faculty Team）に明治大学の鈴木賢教授を招いた講演会を企画。「台湾における性別平等教育法について」というタイトルで2020年12月10日に開催。

- 2021年2月2-9日にオンラインで開催された Association for the Advancement of Artificial Intelligence の年次大会 AAAI Conference on Artificial Intelligence に板津木綿子、金カヨン、ノ・ジュウンが参加。
- 2021年2月20日に開催された Beyond AI 研究推進機構ローンチ・イベントの企画、広報、運営を担当。台湾デジタル大臣のオードリー・タン氏、東京藝術大学准教授のSputniko!氏、東京大学生産技術研究所准教授の池内与志穂氏をパネリストに迎え、林香里が司会を務めた。
- 東京大学国際総合力認定制度（Go Global Gateway）との共催で、教育的なオンライン・ワークショップを開催。
 - 2021年2月16日と18日、学部生との短期プログラム「パンデミック対応：ドイツとの対話」を実施。
 - 東京大学生産技術研究所の Miles Pennington 教授、左右田智美特任研究員と打ち合わせを重ね、2021年3月3日と5日、学部生との短期プログラム「デザイン思考で考える AI とジェンダー」を実施。

検討中の共同研究

- 米 Northwestern University Women's Center, Northwestern University, Northwestern Buffett Institute for Global Affairs とともに世界的に広がる、女性たちに対するオンライン上での攻撃について解明する研究チームの結成について検討中。
- ドイツ・コンスタンツ大学 Gisela Trommesdorff 教授と、日独 AI と社会フォーラムの結成を検討中。

研究の発表状況

書籍

- 佐倉統 (2020) 『科学とはなにか——新しい科学論、いま必要な三つの視点』ブルーバックス、講談社。

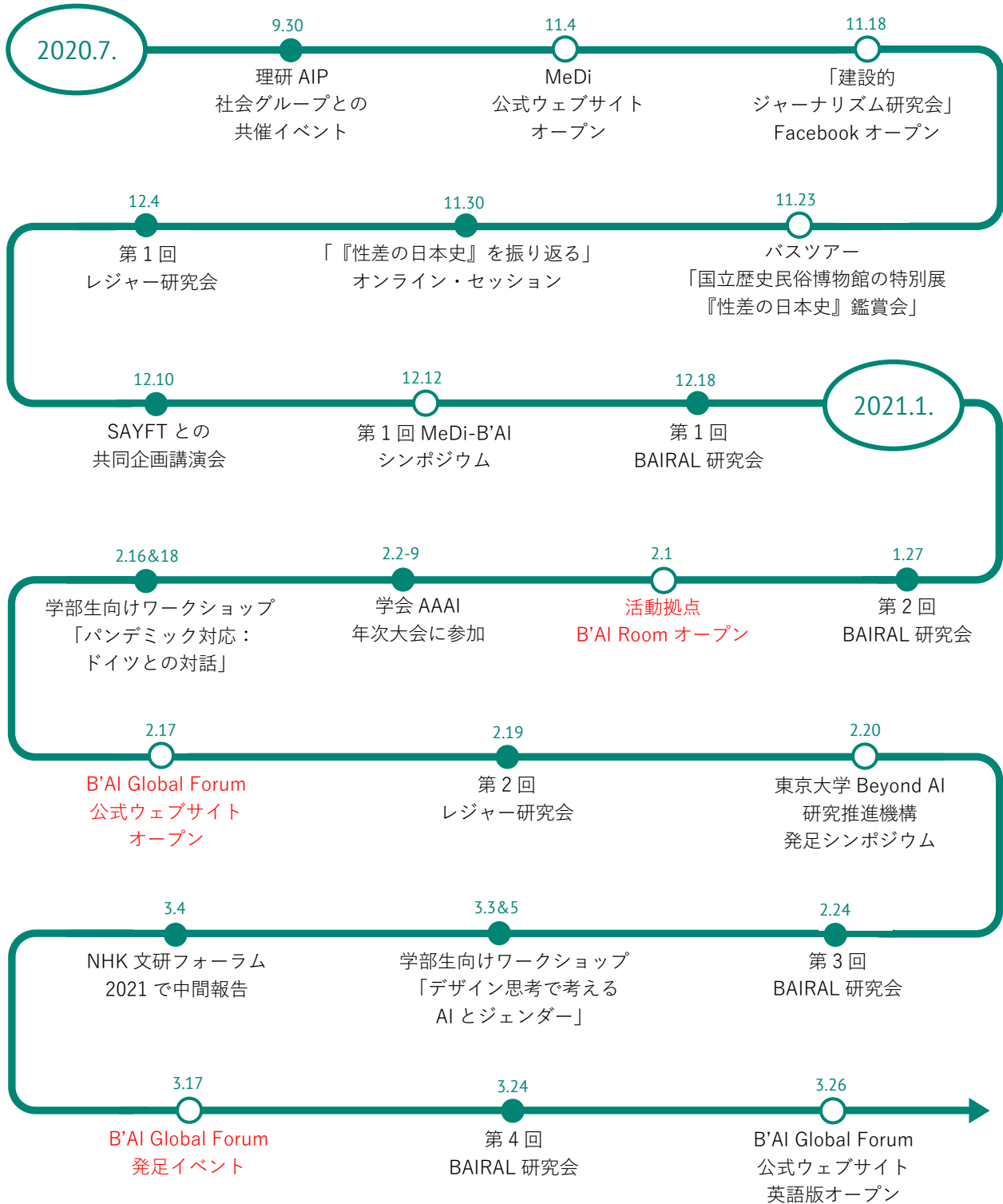
論文

- Shin Mizukoshi (2020) "Media Landscape without Apple: A Workshop for Critical Awareness of Alternative Media Infrastructure", *The Journal of Education (The Institute for Education and Research, Gyeongin National University of Education)*, Vol.2, No.3, 77-94.

口頭発表

- 佐倉統「社会と文化の側から科学技術を考える」第43回日本神経科学大会（特別教育講演）、2020.7.3. オンライン。
- 佐倉統「科学技術を社会の中で考える」学術会議シンポジウム《新知見の扱いとその活用》、日本学術会議、2020.9.10. オンライン。
- 佐倉統「科学技術は誰のもの？——歴史を振り返って考える」次世代モビリティ社会を考えるタベ・第4夜、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所、2020.10.6. オンライン。
- 佐倉統「科学技術は誰のもの？——歴史的に振り返って考える」第30日本神経回路学会（基調講演）、2020.12.3. オンライン。
- 板津木綿子「レジャー研究におけるAI研究の必要性について」余暇ツーリズム学会年次大会、2020.11.14.（専修大学、オンライン開催）
- 矢口祐人「性差の日本史——展示を振り返って」B'AI Global Forum、2020.11.30.（東京大学オンライン開催）
- 佐野敦子（人権・市民社会ステークホルダーグループのメンターとして模擬ディスカッション登壇他）「AIガバナンスワークショップ」東京大学未来ビジョン研究センター・国際連合軍縮部（UNODA）2021.2.9.（東京大学、オンライン開催）

B'AI Global Forum の 2020 年度タイムライン



別紙 2

B'AI Global Forum の 2020 年度メンバー

役 割	氏 名	所属機関・部局・役職	備考
研究リーダー	林香里	東京大学大学院情報学環・教授	
副研究リーダー	板津木綿子	東京大学総合文化研究科・准教授	
プロジェクト統括・ 管理・研究分担者	矢口祐人	東京大学大学院情報学環・教授	
研究分担者	江間有沙	東京大学未来ビジョンセンター・特任講師	
	佐倉統	東京大学大学院情報学環・教授	
	水越伸	東京大学大学院情報学環・教授	
	越塚登	東京大学大学院情報学環・教授・学環長	
	Miles Pennington	東京大学生産技術研究所・教授	
	大西晶子	東京大学相談支援研究開発センター・准教授	
	田中東子	東京大学大学院情報学環・客員教授	MeDi*、大妻女子大学 文学部教授
特任研究員	左右田智美	東京大学生産技術研究所・特任研究員	
	金カヨシ	東京大学大学院情報学環・特任研究員	
	ノ・ジュウン	東京大学大学院情報学環・特任研究員	
研究員	小島慶子	東京大学大学院情報学環・客員研究員	MeDi、エッセイスト
	治部れんげ	東京大学大学院情報学環・客員研究員	MeDi、ジャーナリスト
	山本恵子	東京大学大学院情報学環・客員研究員	MeDi、NHK 名古屋拠点 放送局報道部副部長
	白河桃子	東京大学大学院情報学環・客員研究員	MeDi、ジャーナリスト 昭和女子大学客員教授
	李美淑	東京大学大学院情報学環・客員研究員	MeDi、立教大学グロー バル・リベラルアーツ・ プログラム運営センター 助教
	河原理子	東京大学大学院情報学環・客員研究員	ジャーナリスト
	章蓉	東京大学大学院情報学環・客員研究員	同済大学浙江学院 社会科学部研究員

学外協力者	浜田敬子	Business Insider Japan 統括編集長	MeDi
	三浦まり	上智大学法学部教授	SAYFT**
	三品由紀子	電気通信大学准教授	
	佐野敦子	立教大学 21 世紀社会デザイン研究科・兼任講師	
リサーチ・アシスタント	田中瑛	東京大学大学院学際情報学府博士課程	
	Lim Dongwoo	東京大学大学院学際情報学府博士課程	
	加藤大樹	東京大学大学院学際情報学府博士課程	
学術支援スタッフ	五十田みどり	東京大学大学院情報学環・派遣職員（事務）	
	二神菜生	東京大学大学院情報学環・派遣職員（事務）	

*メディア表現とダイバーシティを抜本的に検討する会

** Safe Campus Youth Network Faculty Team